

内閣総理大臣賞争奪



第27回都道府県対抗全国ダンススポーツ大会in茨城

2019年11月17日(日) / アダストリアみとアリーナ



鈴木吉昭水戸市民協働部長 岡田広参議院議員 永井彰茨城県ダンススポーツ連盟会長



素晴らしいスポーツであるダンススポーツに感謝と選手宣誓。渡部正光・渡部典子(茨城県)



★文部科学大臣賞に輝きました

山田恭平・秋山彩織組(東京都)

大久保稔也・吉村春香組(東京都)

第74回国民体育大会は、天皇陛下御即位記念として令和元年9月28日から10月8日まで「翔べ 羽ばたけ そして未来へ いきいき茨城 ゆめ国体」として盛大に開催。その流れをひき継ぐ第27回全国都道府県対抗戦は、国体でレスリングやフェンシングが行なわれた「アダストリアみとアリーナ」において開かれました。この会場は、2019年4月水戸市街地にオープンした茨城県内最大級の体育館です。

開会にあたり、永井彰大会実行委員長(茨城県ダンススポーツ連盟会長)は、歓迎の辞とともに、「帰りには是非、あんこう鍋を食べてお帰りください」と食の名物をアピール。ご来賓の鈴木吉昭市民協働部長は、「水戸市においては“するスポーツ”はもとより“みるスポーツ”の充実を図るなど、スポーツ文化の振興に向けた取り組みを推進している」との高橋靖水戸市長の祝辞を代読されました。岡田広参議院議員は、アダストリア初のダンススポー

ツ競技の開催であり、「夢は、努力しなければ実現しない。JDSF並びに茨城県DS連盟のご発展を！」と挨拶されました。

競技は朝9時、個人戦からスタートしました。文部科学大臣賞A級スタンダードは、昨年に続き山田恭平・秋山彩織組(東京都)、同A級ラテンは大久保稔也・吉村春香組(東京都)が、遺憾なく実力を発揮し優勝、文部科学大臣賞に輝きました。

山田恭平・秋山彩織組は「我々にとって今年最後の競技会であり優勝できて大変嬉しい！海外の競技会でもWDSFオープンのファイナル入りを目指して頑張ります」と喜びを語り、大久保組は「21歳と20歳のカップル、組んで2年半です。学連でもなく、ジュニア選手でもない僕たちですが、これからは世界を股にかけて活躍したい」と今後の抱負を語りました。

団体戦

団体戦は、国体年齢区分に従い少年A B(高三以下同性同士も可)、成年(大学生以上)、シニアII(45歳以上と40歳以上)、フリー(年齢オープン)区分で実施されています。北海道から鹿児島まで20都道府県からスタンダード19、ラテン16合計35チームが参加し、大声援のなか熱戦が繰り広げられました。

総合優勝はスタンダード、ラテン共に第1位の東京都が見事4連覇を達成、準優勝は昨年に続き神奈川県、第3位は栃木県が初のベスト3入りを果たしました。優勝の東京都には山田淳JDSF専務理事から内閣総理大臣賞と優勝旗が贈られました。



表彰式



優勝 東京都

牧野果礼・山本琴菜組

少年ABに出場の牧野果礼・山本琴菜組は、「個人戦と違った緊張感があり楽しかったです。優勝できて嬉しい」と喜びの声をあげました。

第3位 栃木県



準優勝 神奈川県



水戸市葵陵高等学校書道部：躍動感あふれるダンスで習字パフォーマンス



茨城県役員のおぎんさん、格さん

A級戦 スタンダード

第3位



優勝

山田恭平・秋山彩織組 (東京都)



岩崎将之・中山絵里加組 (神奈川県)



準優勝

高杉耕一・高杉綾子組 (東京都)



A級戦 ラテン

優勝



大久保稔也・吉村春香組 (東京都)



準優勝

太田佳輝・岡田愛彩組 (長野県)



第3位

塚田浩二・小島綾夏組 (栃木県)

全日本選手権 シニアⅢ スタンダード



優勝 田中克典・小山美香子組 (東京都)



全日本選手権 シニアⅢ ラテン



優勝 白井泰昭・飯村美哉子組 (神奈川県)



シニアⅡ A級戦 スタンダード



優勝 植畑祐介・平野貴子組 (奈良県)



シニアⅡ A級戦 ラテン



優勝 古川勲・鈴木陽子組 (福島県)



成年シニアで活躍



永井孝明・永井優子組 (茨城県)



石川誠一・石川美智子組 (新潟県)



林伸男・林民子組 (岐阜県)



川内博史・加治木妙子組 (鹿児島県)



大内彰・大内まい組 (福島県)



次回開催の鹿児島県チーム

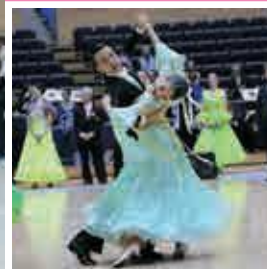
少年ABで活躍



川本竜・川本弥由組 (奈良県)



ホワイトン謙心・ホワイトン夏奈実組 (神奈川県)



吉田修平・小川友菜組 (神奈川県)



太田歩・松本京佳組 (北海道)



ベビーシッターコーナーが設けられた会場



大西咲菜選手も富山県の応援に参加